



奈良県感染症情報

令和2年第18週(4月27日～5月3日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	0.79	(0.94)	↓↓	↓	↓	↓
2	A群溶連菌咽頭炎	0.76	(0.97)	↓	↓	↓	↑↑
3	突発性発しん	0.44	(0.29)	→	↗	→	↗
4	伝染性紅斑	0.12	(0.09)	↓	→	↓	→
4	ヘルパンギーナ	0.12	(0.06)	↑↑	↑↑	↑↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↓やや減少**、**↓↓減少**

◆ 県内概況 ◆

定点把握感染症について、県全体では流行はみられません。A群溶連菌咽頭炎が、中和保健所管内東部地域でやや多く報告されています。また、例年、夏場に流行し口腔内の水疱性発疹等を引き起こすヘルパンギーナの報告もみられました。

新型コロナウイルス感染症は、県内で新たな感染者の報告が続いています。感染拡大防止には「うつらない・うつさない」の徹底が必要です。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあり、この状況を可能な限り避けることが重要です。日頃からの体調管理を心がけ、手洗いと咳エチケットの徹底や人と人の距離をとることを徹底し、感染を予防しましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

予防接種と健診以外の外来受診は、極めて少ない。
登録すべき疾患は無かった。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は極端に少ない。
インフルエンザは終焉。その他の感染症はなかった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

感染症は少ない。アデノウイルス咽頭炎、アデノ陽性胃腸炎が散見。
各種迅速検査陰性のウイルス性咽頭炎、扁桃炎が増加している。
対症療法で軽快している。



密閉回避



外出控え



換気



密集回避



咳エチケット



密接回避



手洗い

出典:首相官邸HP

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ R2 ▲ R1 □ H30 〰 過去10年平均

